

公益  
社団法人 京都府放射線技師会

# 京放技ニュース

10/2012  
(通算629号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX.075-802-0082 E-mail:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp  
HP アドレス http://www.kyohogi.jp/

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込 郵便口座 01070-3-11019 ゆうちょ銀行 店名 一〇九 店番 109 当座 口座番号 0011019  
店名 四四八 店番 448 普通 口座番号 3438322

## 「第 39 回くらしと健康展」開催のご案内

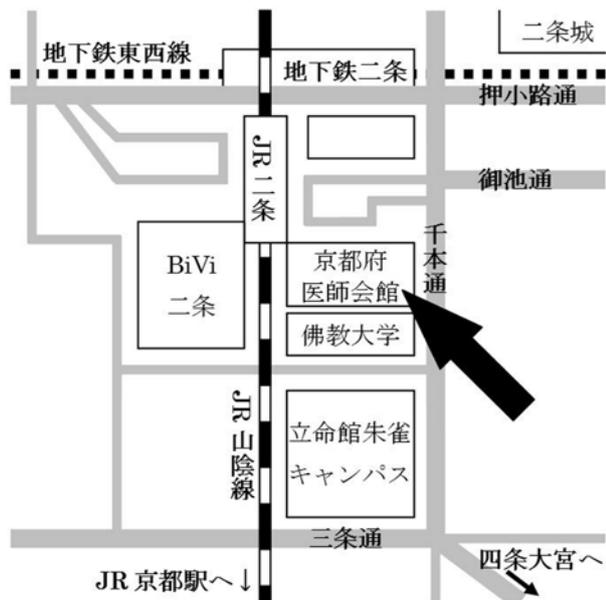
広報・渉外委員会 新井 喬

10月28日(日)10:00～16:00、京都府医師会館において「第39回くらしと健康展」が開催されます。今回は、京都府医師会館において2回目の開催となります。当技師会も主催団体の一団体として例年通り出務いたします。放射線コーナーではパネル展示、相談コーナー、資料コーナーなどを設けています。狭くて小さなブースですが、福島での放射能汚染の拡散問題も続いており、相談にみえた方の放射能や放射線に対する不安や心配が少しでも払拭できればと思います。多数の方のご来場をお待ちしております。

今回から参加は予約制になりましたので、詳細は各施設へ配布されているチラシやパンフレットをご参照ください。ちなみに、問い合わせ先は京都府医師会《くらしと健康展》事務局 Tel 075-354-6101です。

なお、館内の駐車場は利用できませんので来場の際には公共の交通機関をご利用下さい(最寄り駅はJR二条駅・地下鉄東西線二条駅)。

当技師会が行政の関わる社会事業に参画して、放射線に関する一連の出来事を総括し一般社会の皆様に対して医療における放射線利用の安全性や必要性などを啓蒙し、放射線技師という職種が《社会から認知された顔のみえる職業》として、1人でも多くの人に理解してもらえるようにと思います。



JR山陰線・地下鉄東西線二条駅下車  
東の千本通りを南へすぐ

## 医療画像情報精度管理士移行講習のお知らせ

主催：公益社団法人日本放射線技師会

下記の日程で医療画像情報精度管理士移行講習を開催いたします。

現在、公益社団法人日本放射線技師会では、医用画像情報管理士から医療画像情報精度管理士への移行を進めております。

すべての医用画像情報管理士の有資格者が医療画像情報精度管理士へスムーズに移行できるように、公益社団法人日本放射線技師会が定めた一定レベルの講習会を実施いたします。

今回の開催は全国的に一定レベルの講習会を普及・拡大させ、全ての医用画像情報管理士の有資格者が受講できる環境を整えるように計画されたものであります。また学習目標の理解度の判定として講義終了時に確認試験を実施します。

### 記

受講料：会員 1,000 円（非会員 2,000 円）確認試験料込み

申し込み後、当日会場にて徴収します

受講対象者：医用画像情報管理士の有資格者

申し込み方法：和歌山奈良は電子メールのみ、大阪は大阪府放射線技師会ホームページより  
メール件名を「医療画像情報精度管理士移行講習 受講希望」とし、1. 受講者  
氏名、2. 所属（勤務先）、3. 連絡先電話番号、4. 連絡先メールアドレス、5. 技  
師会会員番号（技師会会員のみ）を記載して各技師会へ送信してください。

詳しくはそれぞれの技師会ホームページにて

### 大阪会場

日時：平成 24 年 11 月 2 日（金） 18：30～21：40

平成 24 年 11 月 3 日（祝土）14：30～17：40

場所：大阪府放射線技師会事務所 最寄り駅 谷町線 長堀鶴見緑地線 谷町 6 丁目駅

申し込み締め切り：10 月 7 日（日）

### 和歌山会場

日時：平成 24 年 11 月 18 日（日） 9：30～14：40

場所：和歌山県日赤会館 6 階 605 会議室 和歌山県和歌山市吹上 2 丁目 1-22

会館には駐車場がありません。

お近くの和歌山県民文化会館駐車場（有料）などをご利用下さい

（一般社）和歌山県放射線技師会メールアドレス：wahougi@gaia.eonet.ne.jp

申し込み締め切り：平成 24 年 10 月 31 日（水）

### 奈良会場

日時：平成 24 年 12 月 2 日（日） 13：00～17：00

場所：奈良県社会福祉総合センター中会議室 奈良県橿原市大久保町 320-11

近鉄畝傍御陵前駅下車 北東へ徒歩 3 分

（社）奈良県放射線技師会メールアドレス：naraken@rokuen.or.jp

申し込み締め切り：平成 24 年 11 月 15 日（木）

以上

## 診療放射線技師賠償責任保険について

京都府放射線技師会会長 轟 英彦

平成 24 年度の公益社団法人格取得により、日本診療放射線技師会会員には会費より 500 円相当の診療放射線技師賠償責任保険が保証されるようになりました。これは支払い限度額が 240 万円という、医療行為に対する保障としては小額ですが、自動車保険でいうところの自賠責（自動車損害賠償責任保険）に相当するもので、何かあったときには大いに役立つものと思われま。現在この 500 円の強制保険は日本放射線技師会会員全員にかけられています。

それとは別に任意保険として、診療放射線技師賠償責任保険があります。これは先日、全会員に案内が送られてきているはずですが、補償対象事例は 500 円保険と同等ですが、支払い金額が最高 1 億円と十分な内容になっています。

事故事例として、

- 1、圧迫筒操作リレーの溶着により、患者の胸部を圧迫し重傷。
- 2、患者の取り違いにより、妊婦に X 線照射したため、人工妊娠中絶。
- 3、放射線技師が開けた更衣室のドアが患者の頭部を強打、通院治療。
- 4、幼児の X 線撮影時、踏台から転落。
- 5、ポータブル X 線撮影装置を運搬中、見舞客と衝突、足に打撲傷。
- 6、PTCA 時の透視および撮影が長時間となり、放射線の過重照射により背中に腫瘍発生、皮膚移植手術。

等があります。（診療放射線技師賠償責任保険の案内より抜粋）

看護師や医師には同様の保険が昔からありますが、診療放射線技師専門の保険はありませんでした。そこで診療放射線技師会が保険会社に依頼をし、この保険を作ってもらったしいです。責任を持って業務を行うのであれば、何かあった場合の補償もきちんとしてこそだと思ひます。できるだけみなさま、加入することをお勧めします。

資料請求については日本診療放射線技師会ホームページ、トップページの右下に載っていますので、ご覧ください。

## 京都府放射線技師会の年間の懇親会（飲み会）について

京都府放射線技師会会長 轟 英彦

放射線技師会は職能団体という性質上、横のつながりが強みでもあります。自分の働いている施設以外ではどのようなことを行っているのか、どのような体制をとっているのか、等の他施設の話や、診療放射線技師という職業にまつわる話題等を共有できるという、他にはない団体です。

この情報発信はホームページや京放技ニュースで各会員の皆様にはお知らせしていますが、懇親会（飲み会）で直接他施設の診療放射線技師と話をする、という方法もあります。

京都府放射線技師会では、会としての懇親会を年間 3 回計画しています。1 月には新年会（両丹地区でも別に開催）、7 月にフレッシュ診療放射線技師の集いとして各施設の新人技師といっしよに、11 月に学遊会として勉学と懇親会を同時開催しています。

これとは別に各地区で忘年会を開催している場合もあります。

特に役職の付いている方は横のつながりも大切です。新人の方は自分の就職した施設以外のやり方がどうなのか等の、世間情報を知っておくべきではないでしょうか。

京都府放射線技師会の懇親会に参加していただき、文字通り情報交換を盛んに行って、いっしよに会を盛り上げていただければ嬉しく思ひます。

各イベントは随時、京放技ニュースとホームページにてお知らせいたします。

## 平成 24 年度両丹地区夏季研修会報告

両丹地区理事 山添 三知生

両丹地区春季研修会を平成 24 年 9 月 2 日（日）丹後あじわいの郷にて開催しました。

参加者 33 名（会員 26 名 医師 1 名 賛助会員 6 名）

### 1. AIDR 3D について

京都府立与謝の海病院 後藤 宏成氏

近年、CT の画像再構成の分野でも逐次近似再構成が注目されている。導入されている逐次近似再構成は収集された投影データ上で、統計学的ノイズモデル、スキャナーモデルを用いてノイズを低減し、さらにアナトミカルモデルを用いて画像再構成の中でノイズ成分のみを抽出して繰り返し除去し、これにより、最大 50% のノイズ低減と、75% の被ばく低減効果を発揮するという原理の説明があった。

また、逐次近似再構成を使用すると、どのように SD が最善するか実験がなされ、結果は使用することで画像のノイズが低減し同等の SD を得るのに少ない電流で足りること。他には特に低線量域で SD の改善が著名に現れたが、X 線の足りない領域では、画像が作られなかった。逐次近似の強度が 4 種類あり、その強度の順で効果があることなどが明らかになった。その他、再構成時間については、従来と変わらないとの報告もあり、臨床画像においては、ストリープアーチファクトが減少していることなどの発表内容であった。

### 特別講演

#### 成長期の野球肩、肘の障害について（画像診断）

京丹後市立久美浜病院整形外科 医師 吉岡 直樹先生

障害とは、突発的な外力による怪我ではなく、小さな負荷が慢性的に長期間生じることによって起こる。特に成長期は年齢により（骨端線閉鎖前後）発症、治療のパターンが分かれる。手術にまで至るのは 5% 程度で、保存療法が大切である。投球禁止等の保存療法は半年から 1 年と長きに亘るため、指導者や保護者を含めた、精神的なサポートも必要になってくる。

肘の障害も発症のメカニズムにより分類され、その中でも小頭障害（OCD）は後遺症が残りやすいので、早期発見、早期治療が大切である。一般撮影で肘関節の診断には、正面像、側面像に加えて正面上腕 45° 屈曲位、正面伸展 30° 外旋位の 4 枚が有用である。また、整形外科領域でもエコーによる診断が行われるようになり、靭帯、軟骨、血腫等の観察が容易に行える。

投球のメカニズムで肩、肘と同様に体幹、下半身の柔軟性が重要であり、吉岡先生におかれても医科学サポートチームを編成し、障害予防・再発予防の上で大切になってくるセルフコンディショニングを推奨され、検診会場でストレッチ等を紹介されている。このような取組が今後大きく広がっていくことを期待する。

## 2. 静脈注射（針刺しは除く）講習会について

京都第二赤十字病院 河本 勲則氏

6月3日開催されました、抜針講習会（日放技講義室）に参加しましたので報告します。この講習会は、厚生労働省「チーム医療推進方策WG」において、診療放射線技師の業務範囲の見直しに関する検討が行われ、「CT、MRI検査における造影剤投与後の静脈路の抜針および止血を行うこと」が取り上げられ、十分な教育・研修を行うことを条件に実施できるようになったことより、都道府県開催に先立ち運営担当者を集め講習会が開催されました。

内容は、講義（法的責任、薬剤に関する知識、合併症への対応、感染管理）と抜針実習で5時間のプログラムで行われました。実習では、上肢ファントム（血管君）を使用して行いましたが、数が少なく（4セット）各参加者の使用時間も限られ検討の余地があります。

この講習会は、あくまでも厚生労働省医政局長の通達が発令されることを前提として、まず全国8ヶ所で開催することになりますが、未だ通達がありません、今後の動向を踏まえ慎重に対応する必要があります。

## 3. 手術室にて使われる仮想 MPR 画像

田辺中央病院 中島 智也氏

田辺中央病院では近年、脊椎の広範囲の固定術では脊椎ナビゲータという仮想 MPR 画像を見ながら、脊椎に固定用のボルトを挿入している。この装置は Medtronic 社 StealthStation TRIA plus で、同様の機種で他社製のも含めると全国に 700 台は稼働しているとのこと。3T の MR 装置より普及していることになるが、我々診療放射線技師は、イメージ（透視）を行わないので、その現場に立ち会うことはない、これを目にした方は少ないと思われる。そこで今回、紹介することにしました。

手術前に椎体の CT を撮像しておき、DICOM データとして CD-R に焼きつけたものをこの装置に取り込む。手術時に脊椎につなげた認識用プレートをこの装置の 3D カメラで認識すると、画面に表示された椎体の MPR 像と VR (3D) 像が実椎体とリンクするようになる。固定用ボルトを椎体に埋め込むドライバーにも認識用プレートが付いており、これも 3D カメラで認識すると、画面上の MPR 像と VR 像にボルトがどの角度で、どの位置まで埋め込まれて行ったのリアタイムに確認できる。MPR 像にてこのボルトの埋め込み角度を正確に確認しながらドライバーをまわす要領である。会場では手術時の様子を撮影した動画を中心に説明がなされた。

この装置を用いると、透視イメージを使用しないため、開創部が広範囲になる場合の感染の可能性を低くすることができ、透視の被ばくもない。しかし、操作が難しく、（田辺中央病院では年間数例程度の使用件数なので）現状では使用するたびに業者に来てもらい、操作してもらっているとのことでした。

#### 4. 痔ろうの進展様式の性差について

洛和会音羽病院 林 浩二氏

音羽病院では痔ろうの進展範囲、経路を MRI で確認を行われている。これは術前検査の 1 つである。そのため、術中体位となるべく同じ体位になるように撮像を試み工夫されている。体位は腹臥位で骨盤部にウレタン性枕を敷き、お尻が持ち上げられた状態で肛門を開けるため左右お尻をテープで固定されている。画像は T2 強調画像と T2 脂肪抑制画像をどちらも Axial 像と Coronal 像を撮像されている。痔ろうは Herrmann 線を境に肛門腺から細菌が入り感染し、進展していきます。ここで Axial 像を見て（肛門を円形状に連続に撮像したものを見て）恥骨（腹側）に一番近い所を始点として 0 時から時計周りに 6 時の方向は尾骨（背面側）に一番近い所（0 時の反対側）とし 12 時までの方向で示す。今回の結果では、男性のほとんどが 6 時の方向に後方の内外肛門括約筋経路に進展していきます。それに比べ女性は 2 時から 3 時の方向にほとんど進展していきます。この違いは、女性の場合は浅会陰横筋、球海線体筋経路に容易に進展していくからです。そのため 2 時や 10 時の方向に進展し易い。

#### 5. 京都府地域における医療施設の放射線管理状況（アンケート調査報告）

管理士会（公立南丹病院） 山根 稔教氏

京都府放射線技師会員が所属する 132 施設を対象にアンケート調査を行い、75 施設の回答をもとに以下の 5 点について報告されました。

- 1) 放射線管理業務については診療放射線技師（以下技師）が 96% 関与し、明文化している施設は 37% に留まった。
- 2) 漏洩線量測定の実施については、技師が 42%、業者が 32%、技師と業者が 25% 測定していた。88% の施設が 6 ヶ月以内の測定サイクルで測定していた。
- 3) 放射線業務従事者の被曝管理については、技師が 78%、事務員が 15%、医師が 4% となった。個人モニタは 90% が 1 ヶ月以内で交換され線量評価がされていたが、モニタは装着されているが、評価されていないが 4% あった。放射線防具の点検がされていない施設が 72% と関心の低さが目立った。
- 4) 放射線業務従事者の教育訓練については、40% の施設で行われており、61% の施設で技師が担当していた。
- 5) 検査の被曝線量については、放射線出力測定を定期的に行っていない施設は 59% と半数を占めた。

医療被曝低減を目的としたマニュアルを作成している施設は 11%、作成していない施設は 89% であった。医療被曝ガイドライン値を参考している施設が 53%、していない施設が 44% であった。被曝線量の患者説明については、資料の使用などで理解度の高まる方法が良いと考える。

**第 5 回理事会報告** 平成 24 年 9 月 8 日

議長に城下理事、書記に松元理事を選任し午後 4 時より議事に入った。

**I. 経過報告及び計画に関する件****1) 経過報告及び計画 (森会長)**

(経過報告)

- 7 月 27 日 第 544 回研修会 (京都テルサ東館)
- 8 月 26 日 フレッシュアップセミナー (メルパルク京都)
- 医療画像情報精度管理士認定講習会および試験 (メルパルク京都)
- 9 月 1 日 近畿地区教育委員会議
- 近畿会長副会長会議 (大放技事務所)
- 9 月 2 日 両丹地区夏季研修会 (あじわいの郷)
- 9 月 8 日 平成 24 年度京放技第 5 回理事会 (京放技会議室)
- (計画)
- 9 月 15 日 線量計校正研修会 (京都医療科学大学)
- 9 月 28 日～30 日 日本放射線技師会総合学術大会 (名古屋)
- 9 月 29 日 平成 24 年度第 1 回全国会長会議 (名古屋)
- 10 月 6 日 平成 24 年度京放技第 6 回理事会 (京放技会議室)
- 10 月 13 日 日本診療放射線技師会理事会 (鈴鹿)
- 10 月 20 日～21 日 全国女性サミット (東京晴海グランドホテル)
- 10 月 27 日 奈良県放射線技師会創立 60 周年記念式典 (奈良県)
- 10 月 28 日 ぐらしと健康展 (レントゲン祭) (京都府医師会館)
- 11 月 10 日 平成 24 年度京放技第 7 回理事会 (京放技会議室)
- 11 月 17 日 学術・管理士合同研修会 (第一三共研修センター・烏丸御池上る)

- 11 月 25 日 近畿野球大会 (西宮鳴尾浜葉業グランド)
- (備考) (京放技会議室)

**診療放射線技師基礎技術講習**

- 基礎技術講習「一般撮影」 2 月 11 日 (奈良)
- 基礎技術講習「消化管検査」 10 月下旬～12 月初旬 (大阪)
- 線管理士失効者講習会 1 月 (兵庫)
- 機器管理士失効者講習会 2 月上中旬 (滋賀)
- 10 月 26 日 中間監査 (京放技事務所)

**2) 各委員会報告及び計画****【庶務】 皿谷理事**

- 8 月 31 日現在会員数 502 名 内訳:名誉会員 6 名、正会員 467 名、賛助会員 29 名 (社) 新入会 2 名
- 委員会報告
- 対外文書 230 件、発刊文書 7 件
- 新入会 5 名の承認

**【財務】 武部理事**

- 7 月末日現在 会費納入状況 24 年度 313 名 (67.1%)
- 24 年度会費未納入者 155 名、23 年度会費未納入者 15 名
- 7 月 8 日 会計収支報告 (大放技事務所)
- 8 月 9 日 財務委員会開催 (京放技事務所)
- 9 月 4 日 財務委員会開催 (京放技事務所)
- 火災保険 7 月 17 日より契約完了

**【学術】 原口理事**

- 7 月 26 日 第 544 回研修会中間監査 (京都テルサ)
- 8 月 26 日 フレッシュアップセミナー (24 名参加) (メルパルク京都)
- 8 月 26 日 医療画像情報精度管理士移行講習会 (30 名参加) (メルパルク京都)
- 9 月 1 日 近畿地区教育委員会会議 (大放技事務所)
- 9 月 2 日 両丹地区夏季研修会 (第 545 回研修会) (丹後あじわいの郷)
- 9 月 28 日～30 日 日本診療放射線技師会学術大会 (名古屋国際会議場)

- 10 月初旬 学術委員会予定
- 11 月 17 日 学術・管理士合同研修会予定 (第 546 回研修会) (第一三共研修センター)
- 12 月 22 日 全国教育委員会予定 (大放技事務所)
- 平成 24 年 2 月 2 日 府民公開講座開催予定 (第 547 回研修会) (京都プライトンホテル)

- 2 月 17 日 近畿地域学術大会開催予定 (大阪市立大学医学部)
- 2 月 24 日 静脈抜針講習会予定 (京都第二赤十字病院)
- 3 月 9 日 第 548 回研修会予定 (地区合同研修会)

**【編集】 中島理事**

- 7 月 17 日 8 月号ニュース編集作業
- 7 月 23 日 8 月号ニュース校正作業
- 8 月 13 日 9 月号ニュース編集作業
- 8 月 20 日 9 月号ニュース校正作業
- 9 月 10 日 10 月号ニュース編集作業予定
- 9 月 18 日 10 月号ニュース校正作業予定

**【広報・渉外】 新井理事 (代、皿谷理事)**

- 7 月 18 日 第 39 回ぐらしと健康展第 2 回実行委員会
- 9 月 5 日 平成 24 年度第 1 回南地区委員会出席
- 10 月 27 日 第 39 回ぐらしと健康展設営準備予定
- 10 月 28 日 第 39 回ぐらしと健康展開催予定
- 12 月 第 39 回ぐらしと健康展反省会開催予定

**【組織調査】 久保田理事**

- 9 月下旬～10 月上旬 組織委員会開催予定

- 11 月 17 日 学遊会開催予定
- 【厚生】 中川理事
- 11 月 25 日 近畿地域野球大会開催予定 (兵庫西宮鳴尾浜葉業グランド)
- 12 月 16 日 近畿囲碁大会京都府予選会開催予定 (京放技会議室)
- 平成 24 年 2 月 2 日 公益社団法人京都府放射線技師会新年会開催予定 (京都プライトンホテル)
- 2 月 3 日 近畿地域囲碁大会開催予定 (奈良県猿沢荘)
- 厚生委員 3 名の承認

**【情報】 中田理事 (代、皿谷理事)**

- 8 月 1 日 ホームページ更新作業
- 8 月 19 日 アルバイト募集
- 9 月 1 日 京放技ニュース PDF を掲載
- ホームページ更新作業継続

**【管理士】 山根理事**

- 9 月 2 日 両丹地区夏季研修会にて管理士会アンケート報告 (丹後あじわいの里)
- 9 月 11 日 管理士委員会開催予定 (亀岡シミズ病院)
- 9 月 15 日 線量計校正の研修会開催予定 (京都医療科学大学)
- 11 月 17 日 管理士会研修会開催予定 (第一三共研修センター)

**【受賞者選考委員会】 河本副会長**

・報告事項なし

**II. 地区経過報告及び計画に関する件****【北地区】 古谷理事**

- 8 月 14 日 フレッシュアップセミナーの案内を連絡網配信
- 8 月 21 日 両丹地区夏季研修会の案内を連絡網配信
- 会員宅の河川増水被害について日放技に確認するように伝える
- 【中地区】 榎理事 (代、皿谷理事)
- 8 月上旬 8 月 26 日 (日) のフレッシュアップセミナー、9 月 2 日 (日) の両丹地区夏季研修会、日本診療放射線技師会総合学術大会の申込みについて、同大会の『特別企画「人材育成交流会」』の公開討論会広報、並びに、アンケートのお願いの 4 点を連絡網にて廻す

**【東地区】 平川理事**

- 7 月 20 日 学術大会事前登録の件
- 7 月 23 日 7 月 (第 544) 研修会のお知らせ
- 8 月 8 日 特別企画「人材育成交流会」の公開討論会のアンケート返答
- 8 月 14 日 フレッシュアップセミナーの案内

**【西地区】 丸山理事**

- 7 月 24 日 第 544 回研修会のお知らせ
- 8 月 8 日 学術大会事前登録について案内
- 8 月 9 日 人材育成交流会への参加の案内及びアンケート協力の依頼
- 8 月 22 日 両丹地区夏季研修会の案内
- 8 月 26 日 フレッシュアップセミナー参加

**【南地区】 渡里理事**

- 7 月 7 日 全地区委員会出席 2 名参加
- フレッシュ診療放射線技師の集い (1 名参加)
- フレッシュアップセミナーの参加案内及び資料添付
- 8 月 16 日
- 9 月 2 日 両丹地区夏季研修会 (1 名参加)
- 9 月 5 日 南地区委員会開催 (6 名参加)
- 12 月上旬に地区委員会及び懇親会開催予定

**【両丹地区】 山添理事 (代、皿谷理事)**

- 8 月 21 日 両丹地区夏季研修会案内状の送付
- 8 月 26 日 平成 24 年度第 3 回地区委員会開催
- 9 月 2 日 平成 24 年京都府放射線技師会夏季研修会開催
- 9 月 2 日 平成 24 年度第 4 回地区委員会開催
- 11 月 17 日 平成 24 年度両丹地区秋季研修会開催予定

**【西南部地区】 松元理事**

- 8 月 9 日 大会の事前登録案内を地区委員に案内
- 8 月 15 日 フレッシュアップセミナーの案内を地区委員に案内
- 9 月 2 日 地区委員会日程調整
- 9 月下旬 第 2 回地区委員会開催予定

第 II 号議案が挙手にて満場一致で承認される

**III. その他**

- 1) 抜針講習会について、申し込みは日放技ホームページ
  - 2) 会員カードの発行できていない件について、今しばらく時間がかかるので現在は BASC カードの提示、もしくは会員番号を口頭で言っていたらけっこうですと、各会員に伝える
  - 3) 診療放射線技師賠償責任団体保険について、各会員には 500 円保険を自動で掛けるようになったが、それとは別に任意保険として案内を配布している
  - 4) 教育委員会報告について、京放技ホームページに掲載
  - 5) その他
    - Ai 認定技師について事務手続き不備について日放技に問い合わせを行う
- 次回理事会は 10 月 6 日 (土) 午後 4 時より京放技会議室にて開催予定以上、各議案についてそれぞれ採択し承認された。

(文責 松元)

**求人のお知らせ**

京都市内にて中堅の診療放射線技師の募集が数名あります。  
詳しくは、京放技事務所ホームページにて。

**▶ 11月号予告**

管理士会線量計校正講習・実技報告      会員異動  
その他

**▶ 10月以降の京放技活動予定**

10月28日(日)    暮らしと健康展(レントゲン祭)      (京都府医師会館)  
11月17日(日)    学術・管理士合同研修会      (第一三共研修センター)  
11月25日(土)    近畿野球大会      (西宮鳴尾浜薬業グラウンド)

**会 員 異 動****【新入会】**

岡本 博貴      京都第一赤十字病院 (東5)  
堂屋 瞳      京都第一赤十字病院 (東5)  
岡田 貴至      京都第一赤十字病院 (東5)

**【勤務先変更】**

黒田 芳孝      伏見保健所 (南2) ⇒ 京都市身体障害者リハビリテーションセンター附属病院 (中5)